

エリマネ ニュース

第 11 号

ドリームハイツと周辺への広報紙

発行日：H22 年 9 月 30 日

発行者：ドリームハイツ

地域運営協議会

連絡先：深谷台小学校内

地域交流室

TEL：392-5735

『地域交流室・見守りネットセンター』の動き・・・前号に続く・・・ 二宮町の見守りシステムを見学してきました

9月8日、見守りネットセンターのメンバーが、二宮町を訪問、「二宮町シルバー緊急通報システム」について見学・研修の機会を持ちました。

二宮町は、人口約3万人の町で、75歳の1人暮らしの方が約600人、そのうち現在161人が登録しています。町は、「立山方式」を採用しています。



このシステムの内容は

- ① 電話機近くに本体、ボタン付ペンダント、火災警報器、見守りセンサー（台所、寝室、出入口各1個）を設置します。
- ② 緊急時にボタンを押すと、コールセンターと連絡がつき、状況により登録駆けつけ員や救急車等が手配されます。
- ③ ボタンを押すと、365日24時間、いつでも看護師、保健師等の専門職と相談ができます。
- ④ 毎月1回「お元気ですかコール」として、コールセンターより電話がかかります。
- ⑤ 火災警報機が感知した時は、コールセンターより消防署へ連絡がいきます。
- ⑥ 室内に設置した見守りセンサーで利用者の動きを見守り、異常時にはコールセンターから駆けつけ員や救急車が手配されます。
- ⑦ 負担利用料は、所得に応じて、0円～2,450円の7段階です。

隣近所での見守りをベースにしながらも、このようなハードを用いた見守りシステムを行政として採用していました。

◆ドリームハイツでは、10月より8名のモニターをお願いして、電力使用状況での見守りと緊急通報を試行します

ハイツが見守りの事例として放映されました

9月15日、ふらっとステーションでの、自然な高齢者の見守りや支え合いの様子が、NHKテレビ朝7時「おはよう日本」で放映されました。2分間の短い時間でしたが、ふらっとの中の様子、利用者の姿が生き生きと映し出されていました。

夏休みの子供たち～ふらっとステーションで～

楽しんだボランティア体験

一昨年からの試みで、小学生たちがボランティアをし、2年目のお子さんもありました。

お客様の注文をさいたり、お茶や食事を運んだり、掃除をしたり、気持ちよく、働いてくれました。お客様にも大変喜ばれ、かわいがられていました。

絵画教室と展示会

8月24日に子どもたちの絵画教室を行いました。昨年と同じ土井文子先生と今年は井上さんも応援に加わってくださり、手厚い指導も受け、力作が完成、ギャラリーに展示をしました。(写真)



学生さんがハイツで大活躍

戸塚区社協のプロジェクトで、“大学生がもっと地域に関わり、その後も地域とつながっていくように”との試みでした。

応募してドリームハイツを希望してくれた学生さんは、明治学院大学の学生さん5人。8月後半から9月初めにかけて、延べ47日暑い暑い中を頑張ってきてくれました。受け入れた「ぽっぽの家」「つぼみの広場」では、子どもたちや障がい児と楽しく遊んだり、「夢みん」で利用者やスタッフと親しく会話をし、学生さんからもヒアリングをしたり。「地域給食の会」では食事作りと配食を、「ふらっと」では、スタッフの一人として食事作りや利用者さんとの会話など楽しんでやってくれました。普段若い学生さんと接することの少ない利用者の方々にも大変喜ばれました。9月18日の「あそびの広場」でも、若い力をいっぱい発揮してくれました。その学生さんたちが、携帯電話の講座を開いてくださいます。詳しくは夢みんにお問い合わせください。

・・・学生さんのコメントを紹介します・・・

渡邊藍さんのコメント（2年生、しっかり記録もつけ、リーダーとしても活躍）

発見や学びに溢れた日々でした。ハイツの方は初対面にも関わらず私たちが別け隔てなく受け入れてくださったので、緊張しすぎることなく活動に参加できました。ドリームハイツは定年後の新たな働く場所や友人の輪を広げる場など、自分にできること・したいことを無理なく実践できる機会がたくさんある場所だと思いました。またコミュニケーションを通して地域の繋がりを絶やさない笑顔溢れる場所でした。皆様に心から感謝申し上げます。

大島奏波さんのコメント（1年生、16日間毎日、定期を買って通ってくれました）

いろいろな団体に参加して楽しかった。団体で一人ひとりが活動しつつ、団体間のつながりの強さも感じた。教室で学ぶのと違って、肌で多くのことを感じ、勉強になった。もっと関わりたいと思った。この体験を他の学生にも伝えていきたい。(談)



いこいの家 夢みん

神奈川県との協働事業に挑戦!



今、各地で少子高齢化に伴う人口や世帯数の減少、空き家や空き店舗、団地の空き室の増加が課題となり、地域の活力を取り戻すために、その利用法が検討されています。

ドリームハイツ地域では、十数年にわたり、空き室や空き店舗を利用した地域福祉活動が、地域の方々の理解と支援を得ながら活発に行われてきました。地域に住む人が、高齢になっても様々な形で活動に携わる事で、住民同士の交流の輪が広がり、地域のコミュニティの活性化へとつながってきました。

今回の協働事業は、他地域でこれから同じような活動を始めようとしている方々を対象に、まちづくりの担い手を養成するための講座で、ハイツの他団体の協力を得ながら応募し、受託が決定しました。

これまでのハイツの実践の中で学んだ事や、気付いた事、課題解決の方法等を、6回の講座と4回のワークショップを通して共有し、共に学びあう講座です。

11月18日はハイツ内の活動見学とヒアリング等も予定しています。

講座名は、神奈川県すまい・まちづくり担い手養成講座『実践から学ぶまちづくり入門』

第30回あそびの広場&第1回プレイパーク報告

集まった、遊んだ、笑った!

9月18日(土) 10時~15時

俣野公園にて



恐竜の卵



流しそうめん

約300人が集まり、フラワーアレンジメント、恐竜の卵作り、ロープ遊び、手作りプール、流しそうめん、コマ回し、シャボン玉など楽しみました。



フラワーアレンジメント



ロープ遊び



手作りプールで水遊び

当日の忘れもの(鍵、プーマの野球帽、おわんとおはし)を預かっています。(392)5735へ

「安心カード」を身につけて

全戸に配布した「安心カード」、実際に記入して携帯しておられますか。

9月17日の神奈川新聞に、平塚で実際に「安心カード」が役に立ったという記事が載っていました。救急隊員に話すことができなかったお年寄りが、カードを示して必要な情報が伝わり、適切に対応してもらえ、事なきを得た、ということです。

現在、地域交流室と県ハイツ第1集会所の入り口のラックにあります。どうぞご活用ください。

ドリーム文庫 新刊紹介

猫を祭る	千田 佳代
母（オモニ）	姜 尚中
春は昔	松平 豊子
プラチナデータ	東野 圭吾
龍馬と弥太郎	童門 冬二
ぢぢ放談	永六輔×矢崎泰文
体脂肪計タニタの社員食堂	タニタ
老兵の消燈ラッパ	佐藤 愛子
湖底の城	宮城谷 昌光
小さいうち	中島 京子

水曜日 2:30～4:30
日曜日 10:30～12:00



—予告—

ハイツまるわかり講座 ②

子ども・子育て支援関係の団体一挙紹介

日時：11月20日（土）10時～12時

場所：県ハイツ第1集会所（予定）

ハイツと周辺には子育て関係の団体がたくさんあります。俣野保育園、苗場保育園、ぽっぽの家、つぼみの広場、すぎのこ会、学童保育、他・・・に一堂に集まっていただき紹介をします。皆で楽しい遊びもやります。

これから子育てをする人、子育て中の人、関心のある方、これから何か始めようという方、ぜひ予定に入れておいてください。

広告

ヘアーサロン

さんけい

P有り

定休日毎週月曜、第1、第3火曜日
TEL 045-801-8676 (予約優先)

営業時間 8:30～19:00

環状4号線下飯田駅行き方向、いずみ台バス停すぐ近く

大人3000円 高校生2600円 中学生2100円 小学生以下1500円

女性カット パーマ 顔エステ 顔そり
その他のメニューも あります、

訪問カットもいたします 出張料はいりません

お気軽にお電話ください

深谷台アフタースクール始まる

地域のために空き教室を開放していただいた深谷台小学校で、今度は地域のボランティアが、子ども達の放課後学習の応援をすることになりました。

火曜・木曜 午後2時半～4時半
10月7日(木)から始まります。

現在、ボランティアは8名。さらに女性や学生さんを増やしたいとのこと。連絡は、地域交流室まで。